

- IPPE は、使用ごとに行う通常の点検に加えて、定期的に適任者による詳細点検を受ける必要があります。ベツルは製品の使用期間を通し、12 ヶ月ごとの点検および特殊な状況での使用後の点検を行うことをお勧めします。
  - PPEの点検は、メーカー指定の点検方法に従って行ってください。
- 点検に関する資料はベツルのウェブサイト PETZL.COM からダウンロードできます。



Pre-2019 I'D S    I'D S 2019



Pre-2019 I'D L    I'D L 2019



I'D EVAC 2019



Pre-2018 RIG    RIG 2018

## アイディ S、アイディ L、アイディ エバック、リグ

### 1. 製品履歴の把握

異常な劣化が認められる PPE は、詳細点検を受けるまで隔離する必要があります。ユーザー

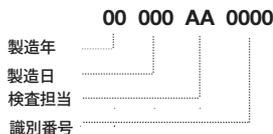
は以下の事を行う必要があります：

- 使用状況に関する正確な情報を記録する。
- PPE に生じた特殊な事象を全て記録する。  
(例: 用具の落下、墜落を止めた、極端な高/低温下での使用または保管、メーカー施設外での改造等)

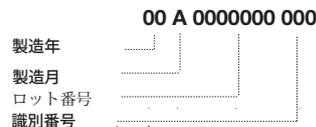
### 2. 予備的観察

個別番号と CE マークが付いていることおよび判読できることを確認してください。  
備考：製品記載の個別番号のコード体系は変更されています。コード体系は 2 種類あります。それぞれのコード体系は以下を参照してください。

コード A:

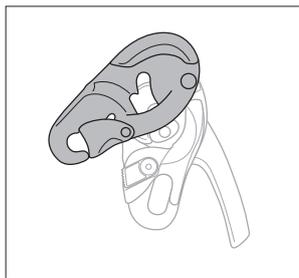


コード B:

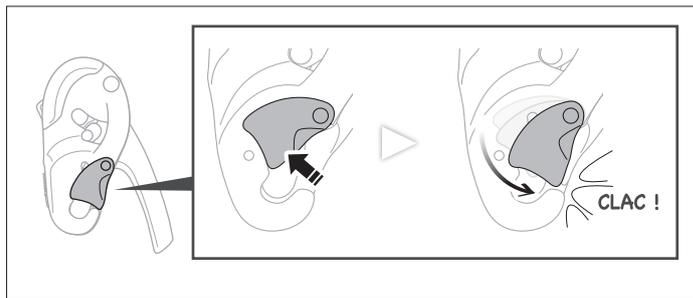


耐用年数が過ぎていないことを確認してください。  
新しい状態にある同一製品と比較して、改造が施されていないことおよびパーツが欠損していないことを確認してください。

### 3. 可動サイドプレートの点検

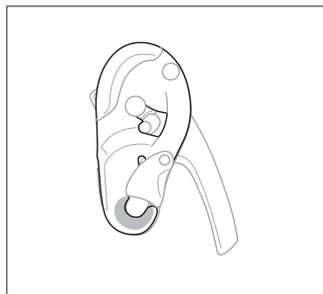
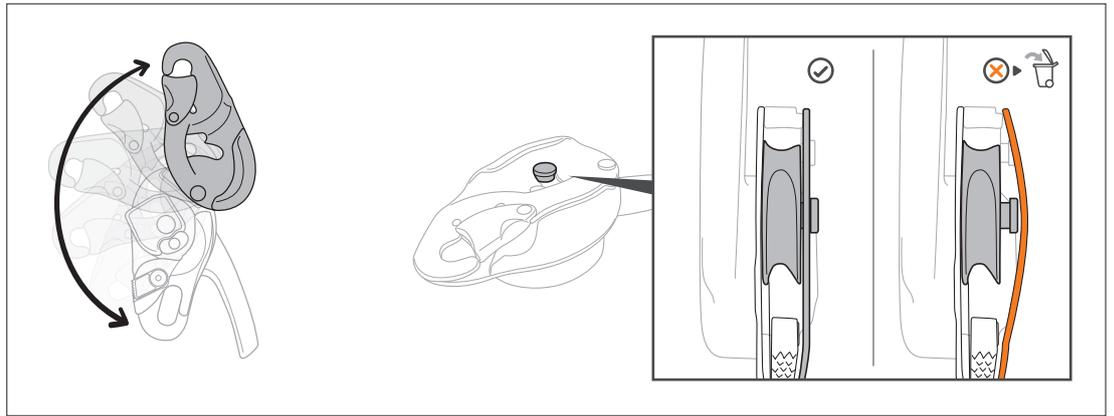


- 可動サイドプレートの状態を確認してください。  
(傷、変形、汚れ、ひび、摩耗、腐食等)。



- セーフティキャッチとスプリングの状態を確認してください。

• 可動サイドプレート適切に開閉することを確認してください。可動サイドプレートに変形や過度なあそびがないことを確認してください: カムの軸の頭がサイドプレートの内側に入ってしまう場合は、その製品の使用を中止してください。

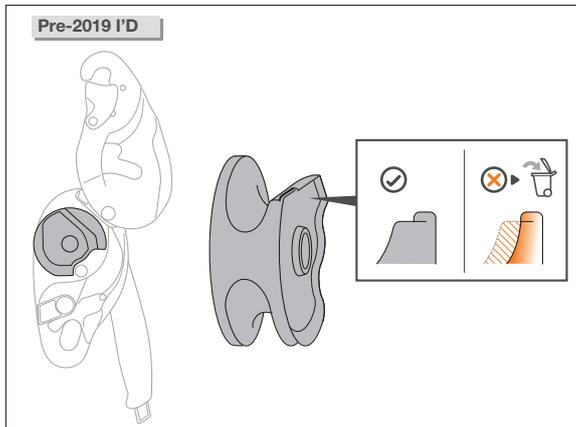
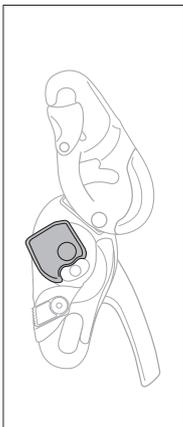


• アタッチメントホールの状態 (傷、変形、摩耗、ひび、腐食など) を確認してください。

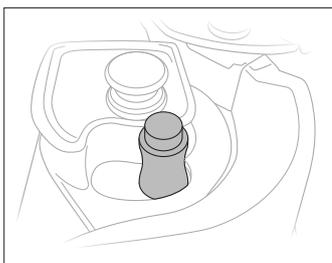


• フレームとリベットの状態 (傷、変形、ひび、腐食、遊びの不足等) を確認してください。

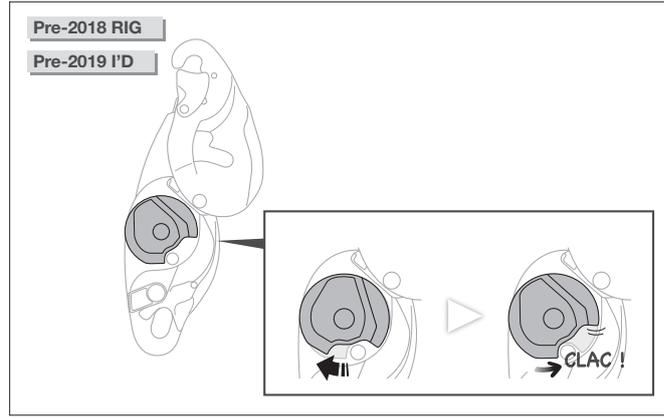
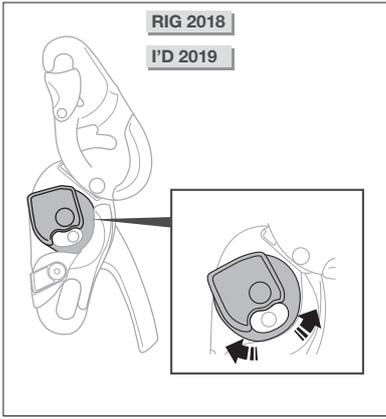
#### 4. カムの点検



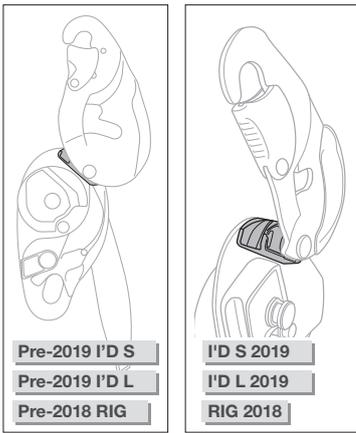
• カムおよびその軸の状態 (傷、変形、汚れ、摩耗、ひび、腐食など) を確認してください。  
 摩耗インジケータ (2019年より前のモデルのみ) カムの溝がインジケータの箇所まで減った場合は、その製品の使用を中止してください。



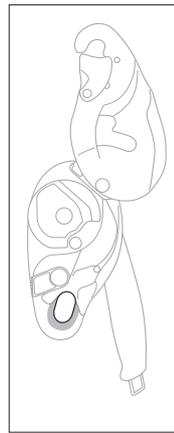
• 特定のケース:  
 摩擦ピンの状態 (傷、変形、ひび、摩耗、腐食) ピンの顕著な摩耗は、カムが過度に摩耗していることを示しています。



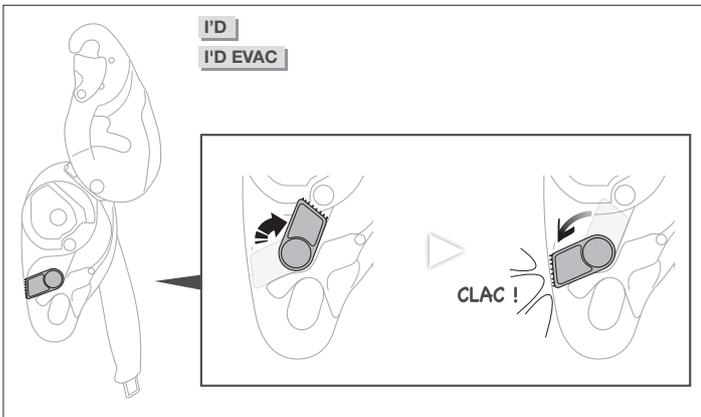
- カムの回転の確認
- 2019年より前のアイディおよび2018年より前のリグは、カムのスプリングの戻りを確認してください。



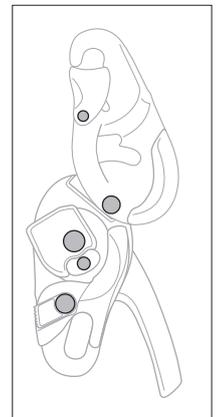
- フリクションプレートの状態(傷、変形、汚れ、ひび、摩耗、腐食など)を確認してください。



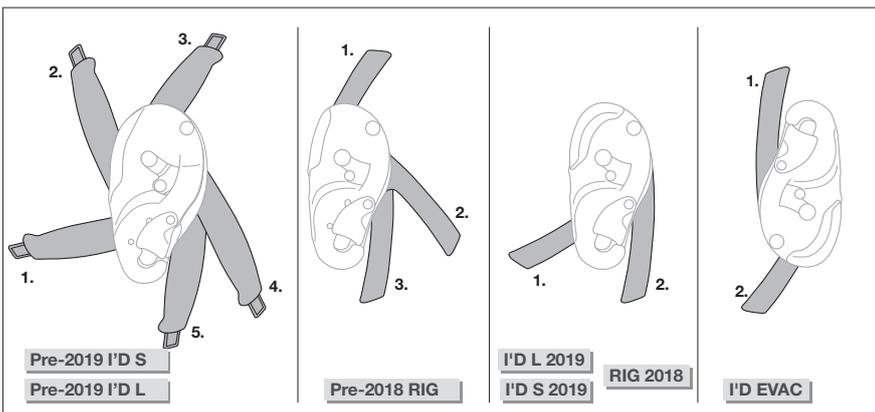
- アタッチメントホールの状態(傷、変形、摩耗、ひび、腐食など)を確認してください。(傷、変形、摩耗、ひび、腐食など)



- アイディは、誤操作防止用キャッチの状態(傷、変形、摩耗、ひび、腐食等)を確認してください。歯が欠けていないことを確認し、その磨耗具合を点検してください。歯に汚れが付いていない状態にしてください必要に応じて、ブラシで清掃してください。
- 誤操作防止用キャッチの動き、およびスプリングの戻りを確認してください。
- リベットの状態(傷、変形、摩耗、ひび、腐食、遊びの不足等)を確認してください。

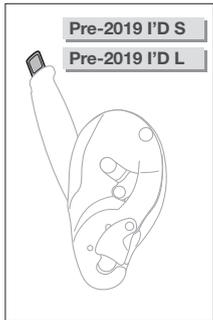
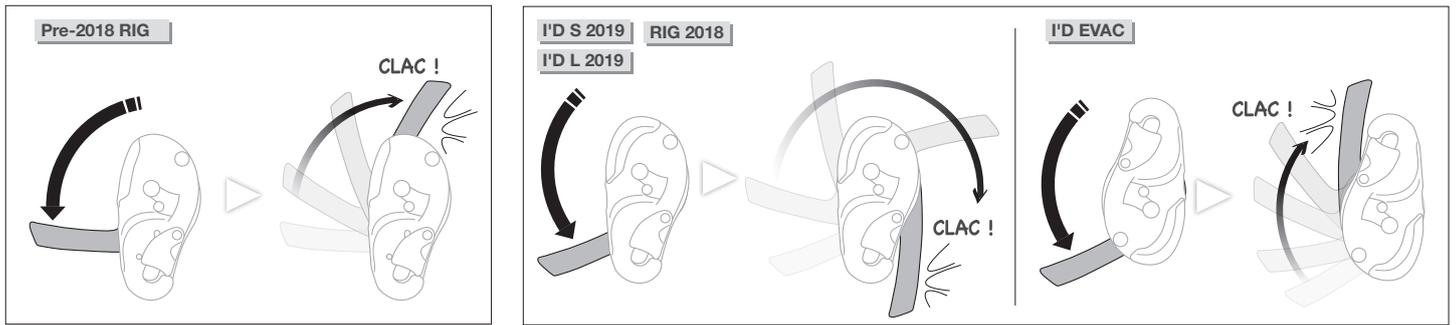


## 5. Checking the condition of the handle



- グリップの状態(傷、変形、汚れ、ひび等)を確認してください。
- 2019年より前のアイディおよび2018年より前のリグは、各ハンドルポジションに動かせることおよびその位置に留まることを確認してください。

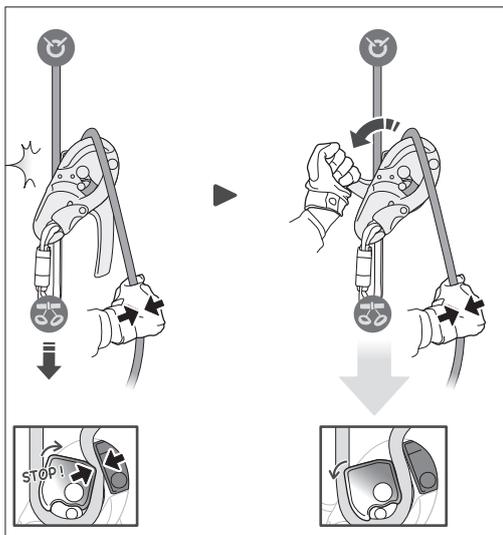
## 5. ハンドルの状態の確認



• 2019年より前のアイディは、緩傾斜用ボタンが適切に機能することを確認してください。

• ハンドルのスプリングの戻りを確認して下さい。

## 6. 機能確認



- 適応する複数の径のロープで機能確認をおこなってください。
- 地上レベルで吊り下がってください。
- ハンドルを操作して短い距離下降します。

## 7. 補足情報: 過度に摩耗するなどして廃棄が必要なアイディ、リグの例

• 汚れたアイディ



• 動かなくなったボタン



• 腐食



• 曲がったサイドプレート



• 穴のあいたサイドプレート



• 摩耗したカムの溝



• 変形したキャッチ



• 破損したハンドル



• 穴のあいたカム



• 衝撃荷重によって変形したアタッチメントホール



• インジケータに達するまで摩耗したカムの溝



• わずかにひびの入ったリベット

